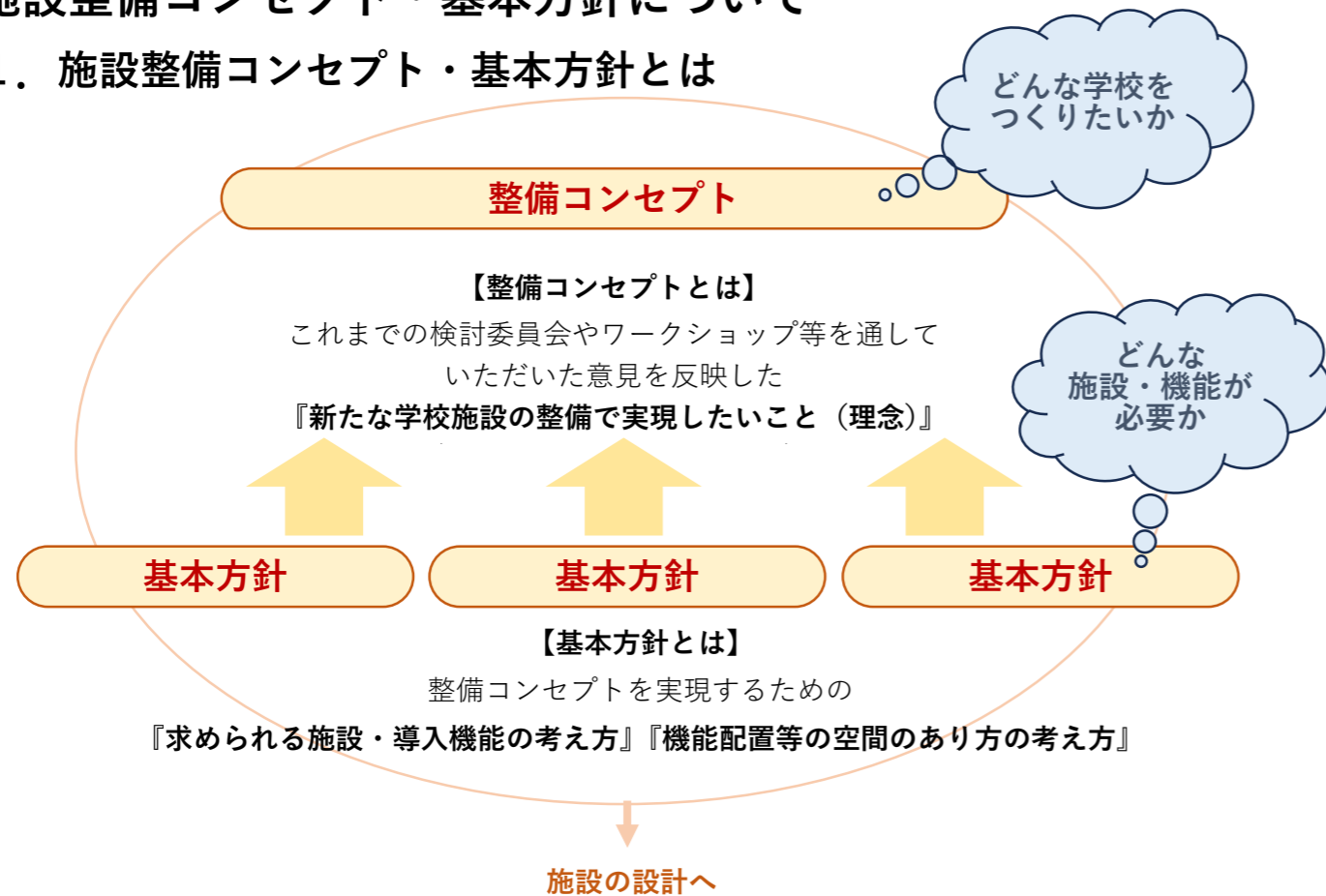


施設整備コンセプト・基本方針について

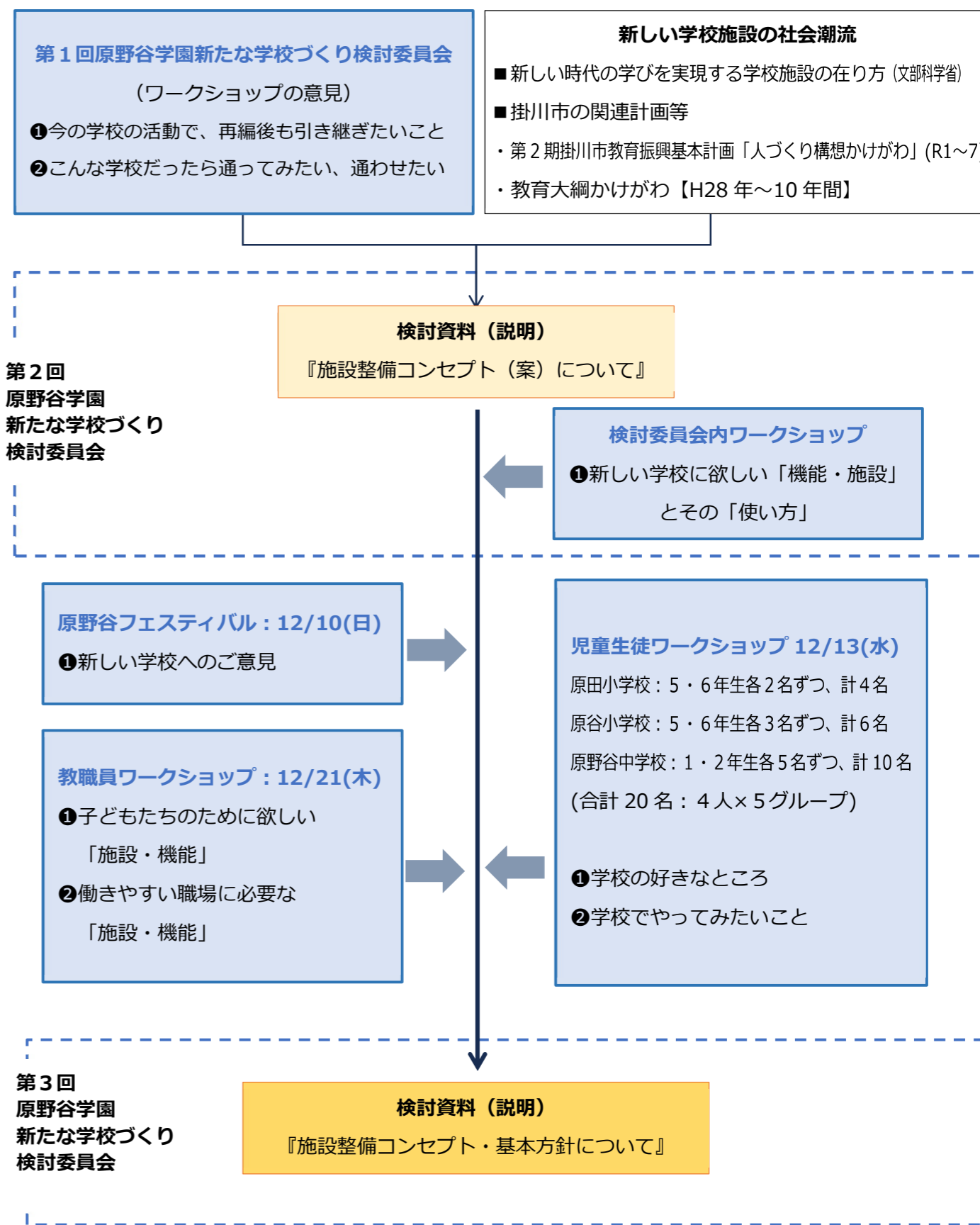
1. 施設整備コンセプト・基本方針とは



参考：磐田市 向陽学府小中一体校における整備コンセプト

コンセプト 「日本一やさしさが育つ学校」	
●向陽学府が目指すたくましい磐田人	
○ 多様な人やモノ、コトへの「やさしさ」をもった人	
○ やさしさを発揮する「つよさ」をもった人	
○ 誰かの、何かの役に立とうとする「こころざし」をもった人	
●整備の基本方針	●多機能型施設整備の方向性
1. 学級数の変動や多様な学習に対応する多機能で柔軟な施設	1. 地域連携室 …地域と学校との連携を促進
2. 児童生徒の心のゆとりを生む快適な施設	2. (仮称) 福祉交流支援室 …地域にある福祉施設との交流を支援
3. 児童生徒、地域、教職員のつながりの深化を創出する施設	3. ランチルーム …交流給食や学年集会に対応 …地域の方との多様な体験の創出 …災害時に対応
4. 児童生徒等の安全・安心を考えた施設	4. 共同調理場 …学府内こども園・幼稚園への配食や災害時に対応
5. 既存施設（体育館等）の活用検討	5. 放課後児童クラブ …放課後の安全・安心な居場所
6. 学校活動への配慮等	

【施設整備コンセプト・基本方針の整理（本日の検討資料について）】



2. 施設整備コンセプト・基本方針（案）

整備コンセプト（案）

これまでの検討委員会やワークショップ等を通していただいた意見を参考に整備コンセプト（案）を作成しました。このいずれかを選択してもらうのではなく、参考案としてご検討いただき、最終的に『新たな学校施設の整備で実現したいこと（理念）』としてまとめます。

案1 原野谷からはじまる‘掛川の新たな学び×まちづくり’を実現する学校

・掛川市の中学校区学園化構想は、原野谷学園が早くから検討されており、今後の学園のあり方、小中一貫校のモデルとなる学校です。また、中学校区を学びとともに地域の拠点と捉えたまちづくりも考えた学校施設を表現しています。

キーワード：原野谷からはじまる、新たな学び、まちづくり

案2 1人1人が尊重し合い、夢と希望に向かう共創のまなび舎

・児童生徒ワークショップで出された意見（新しい学校のキャッチフレーズを考えよう）を重視し、原野谷が育んできた縦と横、地域とのつながりを活かした協働的学びを表現しています。

キーワード：夢、共創、尊重し合う

案3 『夢を抱き りりしく歩む 原野谷っ子』地域で育む学びの杜

・原野谷学園の目指す子ども像「夢を抱き りりしく歩む 原野谷っ子」を活かすとともに、ワークショップ等で多く聞かれた『地域とのつながり』で育む学校であり、地域の自然との調和した学びの場所を表現しています。

キーワード：学園目標、地域、杜

児童生徒ワークショップで出された意見

■新しい学校のキャッチフレーズを考えよう

- ・夢を持って共に歩む（個人で夢を持って、尊重し合いながら新しい学校をスタートさせる）
- ・人との関わりを大切に 清く明るい 原野谷学園
- ・やる気 元気 本気 勇気 仲間思いな 原野谷学園
- ・夢と希望に向かって笑顔で進む原野谷学園
- ・1人1人が尊重し合い 夢に向かって成長していく

基本方針（案） ※次ページ以降に頂いたご意見を整理しています。

ご意見を参考に基本方針（案）についても下記のように作成しました。コンセプトを実現するための整備方針としてまとめていきます。

1 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、柔軟で創造的な学習空間づくり

- 児童生徒の興味・関心を大切にし、個性を活かした探求の場づくり
- コミュニケーションを大切にした協働的な学びの場づくり
- 9年間見通し、縦割りレクリエーション等で培った異年齢交流の場づくり
- 児童生徒と教職員の日常的な信頼関係において、学び～生活まで相談できる環境づくり
- 企業等との連携・協働による総合的な学習
- 明るく温かな雰囲気でも過ごしやすい、ゆとりのある教室
- 柔軟に対応できる多目的スペース
- 読書・学習・情報のセンターとなる魅力的な学校図書館（ラーニングセンター）

2 児童生徒の心のゆとりを生む、健やかな学習・生活空間づくり

- 児童生徒の居場所となる空間づくり
- 児童生徒がリラックスできる空間づくり
- 児童生徒の多様化の対応
- 食を楽しむ・学ぶ
- 運動・部活を楽しむ
- 快適な校内環境
- 清潔感のある快適なトイレ・更衣室

3 まわりの豊かなみどりに調和し、自然を感じることでできる施設づくり

- 周辺環境との調和を意識した施設

4 地域とのつながり・交流を大切にし、ともに創造する共創空間づくり

- 地域の活動・交流拠点
- 公共施設等の複合化・共用化
- 伝統文化の継承

5 児童生徒の安心・安全に配慮した地域の防災拠点づくり

- 通学路の安全確保
- 子どものセキュリティ
- 避難所機能の充実（自家発電、情報通信設備など）
- バリアフリーに配慮した施設

6 先生の働き方に配慮した学校づくり

- 多様な働き方に対応した快適な職場環境
- 教育体制等の改善

3. ワークショップ等の意見を踏まえた基本方針（案）の整理

1 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、柔軟で創造的な学習空間づくり

●児童生徒の興味・関心を大切にし、個性を活かした探求の場づくり

【ワークショップ等での主な意見】

新しい学校で大切にしたいこと

- ・やっぱり“学力”は重要（さらに向上させていただきたい）
- ・基礎学力の充実、授業で勝負！
- ・どの子も主役（一人一人が主役）
- ・生きる力（課題を見つける、考える力、解決する力、表現する力）を増進させる

新しい学校に求める機能・取組等

- 先進的教育環境の整備**
 - ・敷地内全てで Wi-Fi の完備
 - ・Wi-Fi を活用して休み時間を自由に使う
- 普通教室**
 - ・移動式の大きなホワイトボード
 - ・全スクリーン
- 特別教室（教科教室）**
 - ・大きな実験をしたい
 - ・家ではできない実験ができる・実験器具が多い(2)
 - ・学校での共同資産で個人ではなかなか買えない・使えないものが使える
- 特別教室（準備室・教材室）**
 - ・教材室、広い教室（いろいろなものを整理しておける）
 - ・教科資料室
- 学習相談室**
 - ・授業で分からなかったところを自由に学習できる場所
 - ・通常級の子も勉強に困ったら支援ができるようにする。
- 自習室**
 - ・自由に使える自習室がほしい
 - ・放課後に使える自習室
- 専門人材の確保**
 - ・外国人の ALT（外国語指導助手）

●コミュニケーションを大切にされた協働的な学びの場づくり

【ワークショップ等での主な意見】

新しい学校で大切にしたいこと

- ・コミュニケーションを大切にする教育の推進
- ・人間関係づくりを大切にする学校（仲間づくり、集団づくり）
- ・思い出が作れる学校

新しい学校に求める機能・取組等

- 協働学習スペース**
 - ・教えあえる学習スペース
 - ・数人でミーティングできる部屋
- 発表の場・展示の場**
 - ・学校全体の目標を持ち、ステージの発表会のように、その目標を達成できたかを発表する
- 行事による交流**
 - ・文化祭（店、出し物、展示物、お化け屋敷等）【ほか 9】

●9年間見通し、縦割りレクリエーション等で培った異年齢交流の場づくり

【ワークショップ等での主な意見】

新しい学校で大切にしたいこと

- ・学年の垣根を越えた縦割りレクリエーション活動
- ・先輩後輩の信頼関係
- ・他の学年と交流が多い

新しい学校に求める機能・取組等

- 異年齢で遊べる場**
 - ・他の学年との関わりを増やす(ほか 3)
 - ・他学校の人との交流を深めたい
- 複数学年が入る集会スペース**
 - ・2 学年(100 人)入る部屋、教室、小ホール
 - ・全校集会ができるくらいの広い教室
- 学年職員室**
 - ・学年職員室（学年の生徒を見渡せる）
- 催し・行事を通じた交流の場（文化祭・体育祭）**
 - ・小・中学生の交流会（遊んだり話したり）
 - ・さまざまな行事がある（運動会、合唱祭等）(ほか 4)

●児童生徒と教職員の日常的な信頼関係において、学び～生活まで相談できる環境づくり

【ワークショップ等での主な意見】

新しい学校で大切にしたいこと

- ・教科担任制（専門の教員）から楽しく!! 学ぶ!
- ・教職員の笑顔
- ・先生と生徒の距離が近い・先生が面白い・優しい・先生と仲が良い

新しい学校に求める機能・取組等

- 相談室**
 - ・先生に気軽に質問できる
 - ・子どもに話を聞くための部屋(トラブル等)
 - ・キャリア進路の部屋（いろんな学校の資料や職業に関わることが学べる部屋）

●企業等との連携・協働による総合的な学習

【ワークショップ等での主な意見】

新しい学校で大切にしたいこと

- ・地域の産業、特産品などと触れ合う体験、授業
- ・企業とのつながり（協力企業のリスト化）

新しい学校に求める機能・取組等

- 総合学習の場**
 - ・夢原里学習（総合的な学習）
 - ・特別講師を招いて授業（部活動）を行う
- 専門性の高い人材連携**
 - ・ICT 支援員
 - ・iPad などインターネットなどの管理をしてくれる人（教員以外で）
 - ・企業とのつながり（協力企業のリスト化）

●明るく温かな雰囲気でも過ごしやすい、ゆとりのある教室

【ワークショップ等での主な意見】

新しい学校で大切にしたいこと

- ・温かな雰囲気の教室の学校
- ・教室が明るい（採光）
- ・過ごしやすい空間（暑さ・寒さ）

新しい学校に求める機能・取組等

●広く快適な普通教室

- ・教室を広く使える
- ・光を取り込む窓

●充実した収納スペース

- ・鍵付きの個人ロッカーの更衣室
- ・作品や学習物を整理したり保管したりできる場所(3)
- ・長靴が入る靴箱

●掲示スペース

- ・メモリアルコーナー
- ・電子掲示板（貼り変えなし、スペースに限りなし、全員の作品を流してあげられるし、どんどん変えてあげられる）

●エアコン等の設備

- ・温度差がない空調
- ・全教室に空調設備

●柔軟に対応できる多目的スペース

【ワークショップ等での主な意見】

新しい学校で大切にしたいこと

- ・フレキシブルで自由な空間
- ・フリースペースに使える部屋、施設の充実

新しい学校に求める機能・取組等

●フレキシブルに利用可能な広い廊下等

- ・生徒や先生がワイワイできる広い廊下
- ・他学級と交流しやすい広い廊下

●自由に使える多目的室・ホール

- ・児童・生徒以外の地域の方が作品を展示して披露できるスペース
- ・自由に使える多目的教室
- ・フリースペースに使える部屋、施設の充実

●読書・学習・情報のセンターとなる魅力的な学校図書館（ラーニングセンター）

【ワークショップ等での主な意見】

新しい学校で大切にしたいこと

- ・総合の時間を活用した探究活動
- ・図書室が広い（原野谷中）

新しい学校に求める機能・取組等

●フレキシブルに利用可能な広い廊下等

- ・図書館が広いと嬉しい（学校司書の常駐）
- ・放課後に使える図書室
- ・子どもが調べられる部屋（ワクワクする）
- ・地域みんなが利用できる図書館・でっかい図書館が欲しい・たくさん本を読みたい（ほか2）

2

児童生徒の心のゆとりを生む、健やかな学習・生活空間づくり

●児童生徒の居場所となる空間づくり

【ワークショップ等での主な意見】

新しい学校で大切にしたいこと

- ・土日でも学校で遊べるとよい
- ・飽きのこない運動場
- ・友達に会える・話せる（ほか12）

新しい学校に求める機能・取組等

●友人と過ごす交流スペース

- ・自然と子供たちが集えるような遊びの空間
- ・雨の日でも遊べる室内ホール

●児童生徒がリラックスできる空間づくり

【ワークショップ等での主な意見】

新しい学校で大切にしたいこと

- ・ひとりで静かにすごしたい時にも居場所がある
- ・不登校傾向や特性の強い子ども安心できる居場所

新しい学校に求める機能・取組等

●中庭

- ・中庭で食事が食べられる空間

●有意義な休み時間

- ・ワクワクタイムという2時間目と3時間目の間にある少し長い休み時間
- ・休み時間

●一人でもリラックスできる空間

- ・のんびり本を読める、落ち着くことができる場
- ・椅子ではない場所に座って、遊んだり本を読んだりできる場所、談話室

●児童生徒の多様化の対応

【ワークショップ等での主な意見】

新しい学校で大切にしたいこと

- ・体調不良の時に少し休める場所（休憩室）

新しい学校に求める機能・取組等

●スクールカウンセラー等

- ・カウンセラーさんが常駐しているカウンセリングルーム

●保健室

- ・各階に職員室ナースステーションのようなカウンタ
- ・配慮が必要な子供のために、保健室横に別の入り口を設ける

●発達支援

- ・発達支援に関する部屋（支援級、通級、etc.）

●クールダウンスペース

- ・クールダウンができる部屋、空間（ほか2）
- ・クールダウンができるスペース（畳のスペース）

●食を楽しむ・学ぶ

【ワークショップ等での主な意見】

新しい学校で大切にしたいこと

- ・みんなで食べられる食堂や購買
- ・温かい食事ができるよう、給食室

新しい学校に求める機能・取組等

●ランチルーム

- ・カフェテリア（給食を食べる場、ランチルーム）
- ・食堂で自由に食事ができる場所・毎年違う給食、温かい給食がいい（2）
- ・食堂（学食・ランチスペース）や売店（購買・自販機）がほしい（4）

●運動・部活を楽しむ

【ワークショップ等での主な意見】

新しい学校で大切にしたいこと

- ・部活動にしっかり励んでいる（ほか3）
- ・自由に運動場が使用できる

新しい学校に求める機能・取組等

●広い体育館

- ・小中別に同時展開できる体育館(二つ)
- ・体育館を広くしたい

●運動場

- ・草が生えない、砂利石が無いきれいな運動場
- ・雨でもできる屋内運動場
- ・子どもが自由にスポーツを楽しめるグラウンド

●体育器具庫

- ・広い体育器具庫

●運動ジム

- ・子どもから高齢者まで使えるジムがほしい
- ・トレーニング遊具

●遊具など

- ・たくさん遊ぶものがある・色々な遊具がある（ほか2）
- ・たくさんの遊具で遊びたい・公園みたいに遊具が欲しい（ほか5）

●プール

- ・きれいなプール
- ・温水プール（ほか2）、水泳部も使える温水プール

●充実した部活動

- ・小学生にクラブ、中学生に部活 多くの人数で活動（ほか3）
- ・体育のときみんなでやりたいことを決めてやる

●快適な校内環境

【ワークショップ等での主な意見】

新しい学校で大切にしたいこと

- ・大きい学校にしたい

新しい学校に求める機能・取組等

●ゆとりある学校施設

- ・大人数での遊びが出来る

●明るい校舎配置

- ・気持ちが明るくなるような壁色の校舎、口の字型の校舎

●開放的な玄関

- ・ロビー、空間、広い靴箱

●雨に濡れない動線

- ・駐輪場から雨にぬれずに校舎へ行ける通路

●快適性を向上させる設備等

- ・ウォーターサーバー（水筒の中身を自由に入れることができる）
- ・冷水機、共同(働)できる知育玩具

●清潔感のある快適なトイレ・更衣室

【ワークショップ等での主な意見】

新しい学校で大切にしたいこと

- ・ちゃんとした更衣室（男女別）が欲しい
- ・男女別の部屋

新しい学校に求める機能・取組等

●トイレ

- ・プライバシーを気にする子のために学年に関係なく使えるトイレ
- ・多目的トイレ、特別教室横にトイレ

●更衣室

- ・窓が少なく明るい、狭くない更衣室
- ・プールに直結した更衣室

●ランドリールーム

- ・雨の日や汚れたものを洗濯するため（洗濯機、乾燥機、浴室暖房）

3

まわりの豊かなみどりに調和し、自然を感じることでできる施設づくり

●周辺環境との調和を意識した施設

【ワークショップ等での主な意見】

新しい学校で大切にしたいこと

- ・自然豊かな場所に学校があるところ（たくさんの自然に触れ合えるから）
- ・教室の窓から見る景色も思い出に残る

新しい学校に求める機能・取組等

●眺望を活かしたスペース

- ・屋上に行く
- ・見晴らしのいいところを作ってほしい

●自然を活かした学習スペース

- ・ビオトープ（原野谷地区の生物）、散歩道
- ・金谷中にあるような茶室、茶畑（地域の名産を育てて飲む）
- ・緑や池などの自然環境

4 地域とのつながり・交流を大切にし、ともに創造する共創空間づくり

●地域の活動・交流拠点

【ワークショップ等での主な意見】

新しい学校で大切にしたいこと

- ・地域との交流を大切にしている
- ・原田地区と子どもたちの交流
- ・原野谷学園フェスは続けてほしい、地域・小中園が集う場として必要がある

新しい学校に求める機能・取組等

- 地域活動の拠点（イベント等の会場）**
 - ・太鼓や笛の練習ができる防音スペース、地域の人たちと花や野菜を育てる
- 地域の学びスペース**
 - ・学習室・自習室、職員が学べる教室（アート、小物づくりなど地域の方と関われる）
- 地域の集会・発表のスペース**
 - ・地域の方と交流しやすいホール、お茶会できるようなお茶室
- 応接室**
 - ・来客、相談などができる応接室

●公共施設等の複合化・共用化

【ワークショップ等での主な意見】

新しい学校で大切にしたいこと

- ・公民館等の一体型による交流の促進

新しい学校に求める機能・取組等

- 幼稚園・保育園**
 - ・幼稚園・保育園も一緒にしてほしい（ほか3）
- 学童保育**
 - ・学童保育（〇時までいれる自習室）、広くかつ目が届きやすい学童施設
- 地域生涯学習センター**
 - ・地域学習センター（地区まちづくり協議会事務局）
 - ・学校と地域を一つにしたい
- 福祉施設および相談窓口**
 - ・社会福祉協議会の簡易窓口、引きこもりや不登校の親の相談窓口
- 市役所出張機能**
 - ・市役所の出張機能
- 駐在所等**
 - ・警察署分署・駐在所、消防団の編成も行われるので、分団センター
- 地域食堂（飲食店等）**
 - ・飲食店（地域の方）
- 地域拠点となる癒し・商業等施設**
 - ・掛川西北部地域の中心になる機能

●伝統文化の継承

【ワークショップ等での主な意見】

新しい学校で大切にしたいこと

- ・清響祭で原田小の児童が披露した伝統的な神楽の舞
- ・地域の伝統に参加
- ・昔のおもちゃ、遊びを地域の方が教える

新しい学校に求める機能・取組等

- 郷土室**
 - ・原野谷歴史資料館
 - ・子供たちが昔の道具や生活を調べられる
- 学校のシンボルの継承**
 - ・清麗の鐘があるところ

5 児童生徒の安心・安全に配慮した地域の防災拠点づくり

●通学路の安全確保

【ワークショップ等での主な意見】

新しい学校で大切にしたいこと

- ・通学路の安全や通い方
- ・従来通り徒歩で通学させたい

新しい学校に求める機能・取組等

- 通学バス**
 - ・自由に使える大型スクールバス
- 安全な通学路**
 - ・安全な通学路
- 送迎用駐車場と安全な車動線**
 - ・園児、児童生徒の安全な通学が可能な送迎、駐車スペースの確保
 - ・児童、生徒の動線と職員や車、業者の搬入の動線が、きちんと別になるように

●子どものセキュリティ

【ワークショップ等での主な意見】

新しい学校で大切にしたいこと

- ・防災、防犯カメラ（生徒の安全を確保、生徒指導にも生かす）

新しい学校に求める機能・取組等

- 管理システム・防犯カメラ**
 - ・楽で厳重なカギ、セキュリティシステム
 - ・放課後の子どもの所在が管理できるシステムがほしい
- 安全・安心に配慮した教室配置**
 - ・廊下から教室が見える、見渡せる窓（みんなで見られる環境）

●避難所機能の充実（自家発電、情報通信設備など）

【ワークショップ等での主な意見】

新しい学校で大切にしたいこと

- ・丈夫な建物
- ・災害時に心配のない建屋設備を考えてもらいたい（安全安心な学校）

新しい学校に求める機能・取組等

- 有事の際の避難設備**
 - ・広域避難所の機能の充実
 - ・蓄電池を備えた太陽光発電システムを使い災害時に電気が使える、防火水槽
- 防災訓練**
 - ・防災訓練で体育館で1泊

●バリアフリーに配慮した施設

【ワークショップ等での主な意見】

新しい学校で大切にしたいこと

- ・バリアフリーへの配慮

新しい学校に求める機能・取組等

- エレベーター**
 - ・エレベーター（ほか2）
- スロープ**
 - ・スロープ（高齢者も働くから）
- ユニバーサルデザインに配慮した校舎配置**
 - ・平屋、ユニバーサルデザイン
- 廊下・昇降口**
 - ・ドアは吊り下げ式で段差のないもの、広い昇降口

6 先生の働き方に配慮した学校づくり

●多様な働き方に対応した快適な職場環境

【ワークショップ等での主な意見】

新しい学校 で大切に したいこと

- ・多様な働き方に対応した職場
- ・快適な職場環境の充実

新しい学校 に求める機 能・取組等

- 職員室
 - ・広めの職員室
 - ・オフィスのような職員室
- 職員用多目的スペース
 - ・どこで仕事をしてもいいという場所をたくさん
 - ・会議ができるスペース（会議室だけでない場所、ちょっと情報交換できる場）
- 作業・会議スペース
 - ・空き時間に仕事や丸付けができる部屋（各学年の教室前）
 - ・ちょっと会議できる部屋
 - ・コワーキングスペース
- リラクセススペース
 - ・一息つけるサロンスペース又はカフェテリア的な
 - ・横になって休める部屋
 - ・小中の教員がともに話せる憩いの場（カフェみたいな場）
 - ・子供から離れられる時間、場所作り
- 更衣室等
 - ・シャワーのある職員更衣室
 - ・暖房の付く着替えの部屋
- 職員用託児所
 - ・職員用託児
- 設備等
 - ・画面の大きいノートパソコン（効率よく仕事ができる）
 - ・空気清浄機

●教育体制等の改善

【ワークショップ等での主な意見】

新しい学校 で大切に したいこと

- ・授業サポーター
- ・仕事の分担制、働き方改革。一人一人の負担を少なく
- ・短時間勤務制

新しい学校 に求める機 能・取組等

- 学習支援員等による体制強化
 - ・支援者の確保（2）、学習支援員（1学年1人）
 - ・子ども対先生の対比を考える
- IT環境の充実
 - ・充実したインターネット環境
- 情報伝達設備
 - ・すべての階、もしくは学級の内線電話
 - ・PHS 一人一台
 - ・職員室と直通の電話（子どもがどこかに行ったときに言う）
- 電話・窓口対応
 - ・電話対応専門の方
 - ・電話対応窓口、保護者対応窓口（時間外）

原野谷小中一貫校整備 施設候補地の評価及び課題の比較

◎：優れている ○：やや優れている △：やや劣っている ×：劣っている

	評価	候補地1：原野谷中学校	評価	候補地3：市営住宅原谷団地南方の農地
概要		・現在の原野谷中学校の敷地に小中一貫校を建設する。		・農地（民有地）を取得し、小中一貫校を建設する。
現況図				
候補地の面積	◎	・31,707㎡（台帳地積）	◎	・30,000㎡（仮定面積）
用地取得の必要性	◎	・用地取得の必要性がない。 ・市有地面積：31,707㎡ 用地取得必要面積：0㎡ 内訳 建物敷地：9,682㎡ グラウンド22,025㎡	×	・用地取得の必要性がある。用地取得必要面積：30,000㎡ ・市有地面積：0㎡
学校環境	◎	・敷地形状は概ね整形であり、校舎、グラウンド、テニスコート、駐車場（スクールバス乗降場含む）等について、比較的ゆとりある環境整備が可能である。 ・現在の敷地内での小中一貫校整備は可能である。	×	・学校敷地を比較的整形な形状で確保しようとする普通河川（法定外河川）をまたぐこととなる。河川を跨いで建物配置することができないため、校舎・体育館の配置やグラウンド等の配置に大きな制約が生じることが想定される。
通学手段	◎	・徒歩・自転車圏内の児童生徒数は全体の約90%、スクールバス圏の児童生徒数は約10%であり、スクールバス利用の経費削減を図ることができる。 ・敷地内にスクールバス駐車場、乗降場のスペースが必要である。	○	・徒歩・自転車圏内の児童生徒数は約87%、スクールバス圏の児童生徒数は約13%であり、スクールバス利用の経費削減を図ることができる。 ・敷地内にスクールバス駐車場、乗降場のスペースが必要である。
候補地の安全性	△	・外水氾濫想定は、浸水深0.5～3.0m未満である。グラウンド地盤面が低いため、校舎等施設の配置は、現在の校舎配置場所が望ましい。 ・1階部分は耐震性を確保したピロティ構造の検討や建設地の地盤面を盛土するなどの検討が必要である。 ・液状化危険度は評価対象外である。（静岡県第4次地震被害想定：対象となる地層がない）	△	・外水氾濫想定は、浸水深0.3～3.0m未満である。 ・1階部分は耐震性を確保したピロティ構造の検討や建設地の地盤面を盛土するなどの検討が必要である。 ・液状化発生の可能性のある箇所及び液状化発生の可能性が低い箇所が分布している。（静岡県第4次地震被害想定：液状化可能性分布「中」「小」）

	評価	候補地 1 : 原野谷中学校	評価	候補地 3 : 市営住宅原谷団地南方の農地
経済性	○	<ul style="list-style-type: none"> 配置計画によっては造成工事を伴わないことが可能である。 	×	<ul style="list-style-type: none"> 農地（私有地）の買収には、約 3 億円の費用が必要と想定される。 農地の造成・地盤改良等は、約 4 億円の事業費が必要と想定される。
事業スケジュール	◎	<ul style="list-style-type: none"> 建設に係る制約条件が少ないため施設整備に関する検討が比較的容易であり、事業スケジュールと事業費の見通しが立てやすい。 令和 11 年開校は可能である。（仮設校舎建設する場合は令和 10 年開校を想定できる） 	×	<ul style="list-style-type: none"> 用地取得、造成工事（養生期間を含む）及びインフラ整備工事で約 6 年間のスケジュールを見込む必要があり、令和 14 年以降の開校となる。地権者調整・合意形成の状況によっては、更に長期化する可能性もある。 土地利用現況が農用地の場合は、農振除外の手続きが必要となる。 開発許可手続きが必要となる。
総合評価	◎	<ul style="list-style-type: none"> 既存の学校敷地を活用するため、整備スケジュールや事業費の見通しが立てやすい。 校舎の建設位置によっては仮設校舎が必要になる。（現校舎のある敷地北側の方が現在のグラウンド面と比べて地盤面が高いことから、北側に校舎を整備することが望ましい。既存校舎を極力残した状態で新校舎の段階的整備について検討を行う必要がある。） 洪水浸水想定については 1 階のフロアレベル等を検討し、学校施設の基幹設備は 2 階以上に計画するなどの対応策が必要である。 敷地面積が広く、ゆとりある学校環境の整備が可能である。 原谷地区及び原田地区の行政区境に位置しているため、両方の地区から通学・来校しやすい。 	×	<ul style="list-style-type: none"> 農地の用地取得費、造成工事費が必要となり、総事業費が増加する。 事業スケジュールの見通しが立てにくく、小中一貫校建設事業が長期化する。

原野谷小中一貫校整備 施設候補地の評価及び課題の比較

◎：優れている ○：やや優れている △：やや劣っている ×：劣っている

	評価	候補地 2-1：原谷小学校	評価	候補地 2-2：原谷小学校+北面の拡張
概要		・現在の原谷小学校の敷地に小中一貫校を建設する。		・現在の原谷小学校の敷地と北面の農地（民有地）を取得し、小中一貫校を建設する。
現況図				
候補地の面積	△	・23,474 m ² （台帳地積）	◎	・候補地全体の面積：33,274 m ²
用地取得の必要性	○	・23,474 m ² （台帳地積） ・市有地面積：23,474 m ² 用地取得必要面積：0 m ² 内訳 建物敷地：4,240 m ² 、グラウンド：17,562 m ² その他（郷土資料館・クラブハウス）：1,672 m ²	×	・用地取得が必要である。用地取得必要面積：約 9,800 m ² ・学校用地：23,474 m ² （台帳地積）市有地 内訳 建物敷地：4,240 m ² 、グラウンド：17,562 m ² その他（郷土資料館・クラブハウス）：1,672 m ²
学校環境	△	・敷地形状は概ね整形であるが、校舎、グラウンド、テニスコート、駐車場（スクールバス乗降場含む）等のゆとりある配置が困難である。 ・小学生用・中学生用それぞれのグラウンドが確保できないため、兼用のグラウンドとなる。	△	・敷地形状は概ね整形であるが、敷地が分断し、校舎、グラウンド、テニスコート、駐車場（スクールバス乗降場含む）等の一体的な配置が困難である。 ・北面に用地拡張できれば、小学生用・中学生用それぞれにグラウンドを確保できる可能性がある。
通学手段	◎	・徒歩・自転車圏内の児童生徒数は全体の約 90%、スクールバス圏の児童生徒数は約 10%であり、スクールバス利用の経費削減を図ることができる。 ・敷地内にスクールバス駐車場、乗降場のスペースが必要である。	◎	・徒歩・自転車圏内の児童生徒数は全体の約 90%、スクールバス圏の児童生徒数は約 10%であり、スクールバス利用の経費削減を図ることができる。 ・敷地内にスクールバス駐車場、乗降場のスペースが必要である。
候補地の安全性	△	・外水氾濫想定は、浸水深 0.3～3.0m未満である。 ・1 階部分は耐震性を確保したピロティ構造の検討や建設地の地盤面を盛土するなどの検討が必要である。 ・液状化発生の可能性がある箇所及び評価対象外の箇所が分布している。（静岡県第 4 次地震被害想定：液状化可能性分布「中」、対象となる地層がない）	△	・外水氾濫想定は、浸水深 0.3～3.0m未満である。 ・1 階部分は耐震性を確保したピロティ構造の検討や建設地の地盤面を盛土するなどの検討が必要である。 ・液状化発生の可能性がある箇所及び評価対象外の箇所が分布している。（静岡県第 4 次地震被害想定：液状化可能性分布「中」、対象となる地層がない）

	評価	候補地 2-1 : 原谷小学校	評価	候補地 2-2 : 原谷小学校+北面の拡張
経済性	○	<ul style="list-style-type: none"> 配置計画によっては造成工事を伴わないことが可能である。 	×	<ul style="list-style-type: none"> 原谷小学校敷地内は、配置計画によっては造成工事を伴わないことが可能であるが、北面の農地は造成工事・地盤改良工事等が必要となる。 農地（民有地）の買収には、約 1 億円の費用が必要と想定される。 農地の造成・地盤改良等は、約 1.3 億円の事業費が必要と想定される。
事業スケジュール	◎	<ul style="list-style-type: none"> 建設に係る制約条件が少ないため施設整備に関する検討が比較的容易であり、事業スケジュールと事業費の見通しが立てやすい。 令和 11 年開校は可能である。（仮設校舎建設する場合は令和 10 年開校を想定できる） 	×	<ul style="list-style-type: none"> 北面の農地はすべて青字農地であり、土地を買収、転用するためには、農振除外、開発許可の手続きが必要になり期間を要する。 子どもたちの安全を確保するために歩道橋や渡り廊下などの施設が必要となるが、県道を跨ぐ形となるため、静岡県等の関係部署との協議にも期間を要することが想定される。 令和 11 年度の校舎・体育館の供用開始は可能と想定されるものの、グラウンド、テニスコート、駐車場などを含めた全面供用開始は令和 13 年度以降となる。
総合評価	○	<ul style="list-style-type: none"> 既存の学校敷地を活用するため、整備スケジュールや事業費の見通しが立てやすい。 敷地南側に校舎を整備することで仮設校舎は不要となる。ただし、建設工事中はグラウンドの利用に制約がある。 洪水浸水想定については 1 階のフロアレベル等を検討し、学校施設の基幹設備は 2 階以上に計画するなどの対応策が必要である。 敷地面積に余裕がないため、施設配置上の制約がある。 周辺は原谷小学校区の居住地環境であり、こども園、公会堂などの公共施設が立地している。 	△	<ul style="list-style-type: none"> 農地の用地取得費、造成工事費が必要となり、総事業費が増加する。 北面の農地（民有地）を取得し、学校用地として使用できるようになるまでには期間を要することが想定される。 敷地南側に校舎を整備することで仮設校舎は不要となる。ただし、建設工事中はグラウンドの利用に制約がある。 洪水浸水想定については 1 階のフロアレベル等を検討し、学校施設の基幹設備は 2 階以上に計画するなどの対応策が必要である。 周辺は原谷小学校区の居住地環境であり、こども園、公会堂などの公共施設が立地している。

原野谷小中一貫校整備 施設候補地の評価シート

資料 2 - 2

資料 2 - 1 「原野谷小中一貫校整備 施設候補地の評価及び課題の比較」を閲覧いただき、
各候補地について、評価が高い場合「**3**」、中間的な評価の場合「**2**」、評価が低い場合「**1**」の数字をご記入ください。
また、評価項目について、新しく追加したい項目があれば追記いただき、重視したい項目に1から順位をつけてください。

項目 順位	評価項目	候補地 1 原野谷中学校	候補地 2 - 1 原谷小学校	候補地 2 - 2 原谷小学校 + 北面の拡張	候補地 3 市営住宅原谷第 2 団地南方の農地
	学校環境 ▶ 児童生徒の学習・スポーツ等に、ゆとりある環境 ▶ 学校運営に支障のない広さ・構造				
	利便性 ▶ 原田地区・原谷地区の両地区から通学・来校しやすい位置				
	安全性 ▶ がけ崩れや浸水、液状化等に対する安全 ▶ 安全な通学路・道路				
	経済性 ▶ 高額な事業費は投入できない				
	迅速な事業スケジュール ▶ できるだけ早期に小中一貫校を開校したい				
	(自由記入欄)				
	(自由記入欄)				
	(自由記入欄)				

原野谷小中一貫校整備 施設候補地の評価シート（記入例）

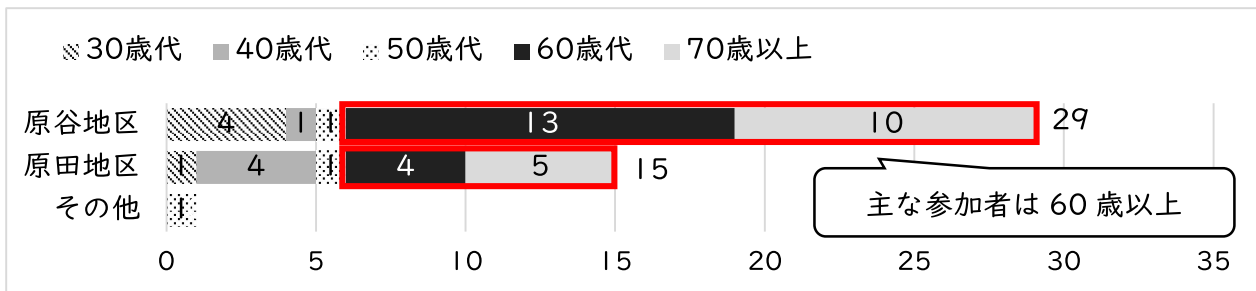
資料 2 - 2

資料 2 - 1 「原野谷小中一貫校整備 施設候補地の評価及び課題の比較」を閲覧いただき、各候補地について、評価が高い場合「**3**」、中間的な評価の場合「**2**」、評価が低い場合「**1**」の数字をご記入ください。また、評価項目について、新しく追加したい項目があれば追記いただき、重視したい項目に1から順位をつけてください。

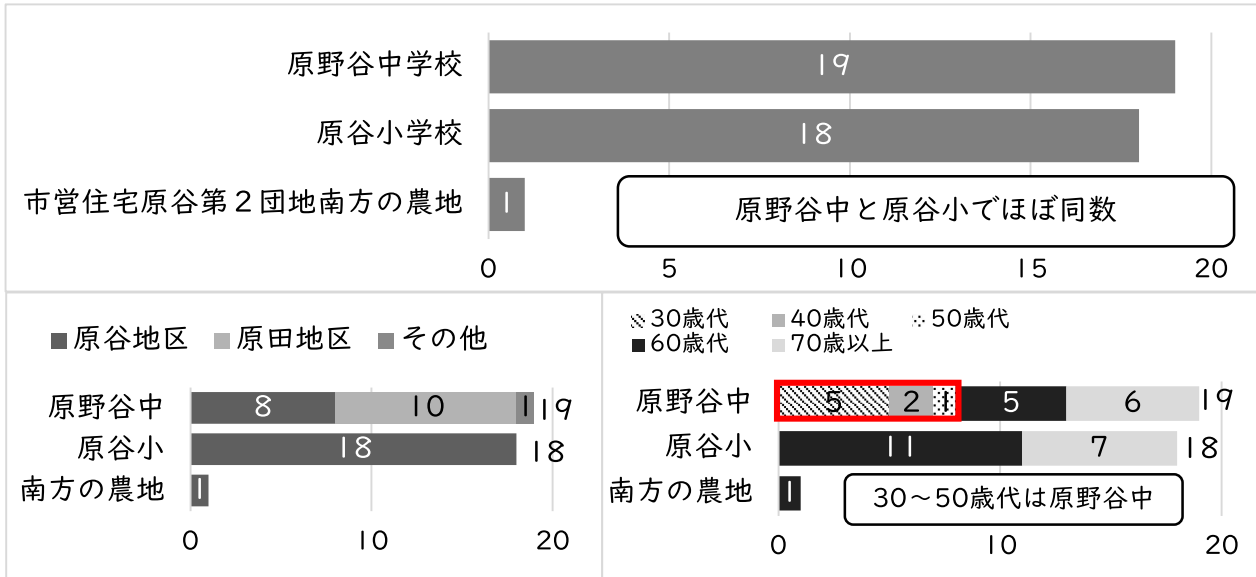
項目 順位	評価項目	候補地 1 原野谷中学校	候補地 2 - 1 原谷小学校	候補地 2 - 2 原谷小学校 + 北面の拡張	候補地 3 市営住宅原谷第 2 団地南方の農地
1	学校環境 ▶ 児童生徒の学習・スポーツ等に、ゆとりある環境 ▶ 学校運営に支障のない広さ・構造				
3	利便性 ▶ 原田地区・原谷地区の両地区から通学・来校しやすい位置				
2	安全性 ▶ がけ崩れや浸水、液状化等に対する安全 ▶ 安全な通学路・道路				
5	経済性 ▶ 高額な事業費は投入できない				
4	迅速な事業スケジュール ▶ できるだけ早期に小中一貫校を開校したい	3	3	1	1
	(自由記入欄) 追加したい評価項目があればご記入ください				
	(自由記入欄) 追加したい評価項目があればご記入ください				
	(自由記入欄) 追加したい評価項目があればご記入ください				

【原野谷学園新たな学校づくり】1/13 地域説明会アンケートまとめ

1. 参加者内訳 (合計 45 名)



2. 学校の建設地について (回答者 38 名)



<理由・コメント>

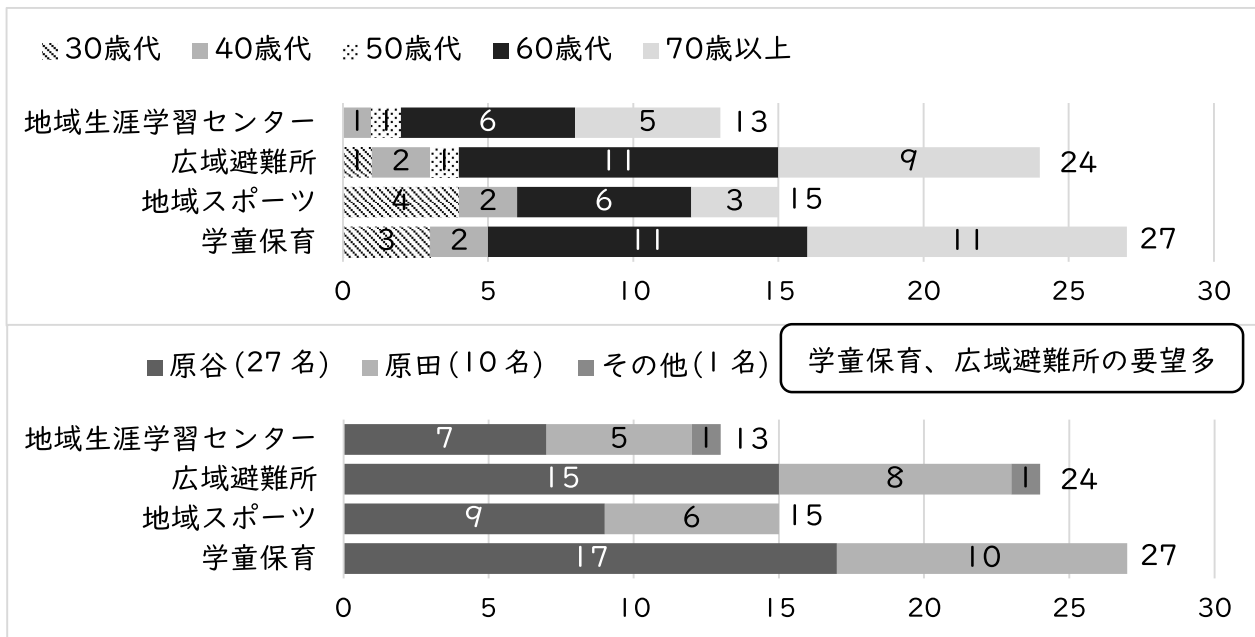
【原野谷中学校】

- ・ 敷地と周辺の道の広さ(7)：生活のしやすさ、防災の面、親御さんの利便性、建設の自由度
- ・ 最短で開校が可能(7)
- ・ 経済的負担が少ない(5)
- ・ 原谷と原田の中心(4)：原谷・原田地区の生徒が通しやすい位置
- ・ 現スペースを有効活用できる(2)
- ・ 原田方面に公共施設がなくなると人々が原田へ住まなくなり、ますます人口減になってしまう
- ・ 昔から原野谷は原谷、原田、原泉の3地区で歴史をつくってきたため今後も原谷のみでなく原野谷の繁栄を望む
- ・ 災害時、橋が壊れた場合、分断されるのではないかと

【原谷小学校】

- ・ 人口的に原野谷の中心である、街に近い(8)
- ・ 通学にあたり人数が多い原谷の子どもが移動するのは大変、スクールバスが原田のみで済む(5)
- ・ あんり、こあらなどの幼児施設、病院が近い(4)
- ・ 将来桜木・和田岡地区との合併を想定(3)
- ・ 原谷地区の中心部
- ・ 不要地の売却費等も考えに入れた検討を願う

3. 複合したい公共施設について（回答者 38 名）



<理由・コメント（○複合したい、×複合は不要）>

【地域生涯学習センター】

- × まち協が2つなので学習センター機能を原谷・原田で統合することは難しい(2)
- × 地域生涯学習センターは原田と原谷の2カ所に置くべき
- × 学習センターが1か所では遠くて行けない方も出てくると思う

【広域避難所】

- 現在も原野谷中学校が広域避難所になっているので、それを継承すべき
- 飲料水や米や薬品等を備蓄しておく必要があると思う
- 情報の統合、避難地の確保、必要な物資の配給等で集約が必要
- 原野谷川にかかる橋等が分断された場合、左岸側の地域の人達の利用価値が高いと思われる
- 学校内に避難し授業が出来ない等があるため、避難所と区別してほしい
- 中学校区の住民すべてを受け入れるスペースがあるか不安
- × 避難所は地元に置きたい

【地域スポーツ】

- 授業後の活動なので、同一敷地内にあると助かる
- 令和7年度以降部活動が学校で行われなくなるため、この施設があれば部活に入らなくても良いという考えの生徒が減るので、あった方が良くかなと思う。
- 地域の方ともつながれるのは利点
- × 現小学校の有効な利用こそ地域スポーツになる。地域スポーツと学校の教育としてのスポーツはわけたほうが良い

【学童保育】

- お迎え等の親の負担が減る(3)
- 授業後の活動なので、同一敷地内にあると助かる
- 授業後に現在ある原田と原谷の学童保育所へ移動することは難しいため

- 安全に放課後を過ごせる場所が必要
- 原谷小の学童保育は現状維持で、新しい一貫校には原田地区の学童保育を設置してほしい。

【その他】

- 原野谷地域のコミュニティーの場になると良い。地区民の集まる場所となるのが良い
- 原田原谷のシンボリックで多くの人が集まる所にしたい
- 原谷郷土資料館も複合施設としたい（仲屋考古館、原田も含め）
- 新たに建てるのではなく校舎を活用することが良いかと思う
- × 別で良い。大人の都合ではない「子」中心に考えたい

4. その他ご意見等

- ・ 現役で子育てをしている人に意見をきいてもらいたい(3)
- ・ 学校再編成のことも大事だと思うが、しっかり勉強を教えていただきたい(2)
- ・ 人口減少地域を対象に特色ある教育プログラムを実施し、学区の弾力化を促進してほしい
- ・ 人口を考えるとやはり 30 年 40 年地区が続いていくとは思えない
- ・ 若い夫婦は小規模な学校を避けている様だ
- ・ 再編が遅れたのは、小学校が両地域の拠点として機能してきたことへの配慮が足りず、議論が前後したからではないか
- ・ 原野谷中学校に通学することになれば、通学距離が長くなり、危険な通学路のため原谷小学校区を嫌う保護者が増える可能性が高い
- ・ 原野谷中学校では、20 年以上前から通学距離 2 km 未満の生徒にも自転車通学を認めている。小学生には 4 km 以内の距離を徒歩通学させるとなると、中学生と整合性が取れない
- ・ 天浜線での通学は考えないでほしい。いろんな大人がいるので、子どもがトラブルにまきこまれる可能性があると思う
- ・ 原野谷中になった場合は、県道 40 号南からの通学路の安全策を講じて欲しい
- ・ 学校名が決まっていないのであれば原野谷学園で良いと思う

ホームページ上ご意見フォームへのご意見

回答 番号	新しい学校へのご意見 (1/21まで)
1	質問です。今後 児童の減少を考え、40年、50年後を視野に入れ、和田岡、桜木(一部)等との学区編成の考えはありますか。 1/13説明会で回答をお願い致します。
2	小中一貫校の検討委員会の決定より先に 原谷、原田小の併合が決まっている現状を考えれば原谷小が良いと思う。憩の広場も候補に上がっていたが、将来また学校再編の事態に備えて憩の広場が最適かと思う。児童の事を考えればきめ細やかな配慮が必要になるが、そうなれば中学校交流も頻繁に行える様になるか？
3	<p>第二号検討会だよりを拝見させていただきました。 お忙しい中、子供達のために考えていただきありがとうございます。 地域説明会へ行けるかわからないのでご意見フォームにて失礼します。 学校建設地ですが、3つの候補のうち原谷小学校よりも南方の土地を希望します。 理由は下記の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校も小学校も建て替えが必要になり、コストが嵩むから ・スクールバスを導入する場合、原田地区はスクールバス、原谷地区は徒歩もしくは自転車等区別が付きやすいため。中途半端な区切りにすると隣の家はスクールバスなのにうちは徒歩というような苦情が起きやすい ・中学校の部活廃止により他へ通わなければならない、原野谷中学校からではどこへ通うにも遠すぎるから(放課後に行くのが大変) ・原野谷中学校だとあんりとの交流が難しい <p>以上が理由となります。 あと要望ですが、駐車場を今より多めに確保して欲しいです。また共働き世帯がほとんどなので役員等できる限り簡素化していただき保護者の負担を軽減していただきたいです。よろしくお願いします。</p>
4	学校の建設場所ですが、生徒の多くが、原谷小学校周辺(本郷西、東、南、サングリーン、西山)に住んでおり、多くの生徒、児童が原野谷中の場所まで通学するのは、危険で安全面で問題だと考えます。種々課題はあるかと思いますが、通学の安全性から考えると原谷小に建築することを希望します。
5	一月三日の説明会について感じたことは、すでに教育委員会では原野谷中跡地に木造建築で決まっている説明会だったと考えます。 参加した私はピエロだと思いました。30年間の間教育委員会の思惑通りに行かなかった場合はだれが責任を取るのでしょうか？
6	<p>場所は原野谷中学校でよいと思う。その代わり今の小学校を災害時に利用できたり地域の人が何かに(クラブなど)を使用できるようにできたらよいと思う。 登下校については、現在の中学生の自転車通学範囲の児童をスクールバスなど使わせてあげたい。(小学生)中学生はそのまま自転車通学でよいと思う。 原谷ばかりが中心ではなく原谷と原田で原野谷であるため平等ができるとするなら原野谷中学に新しい学園を作ってあげてほしい。</p> <p>現在の意見等は高齢者の意見が強いと思われます。今の子育て世代が中心となって子供たちにとっていい学校楽しい学校になってほしい。 説明会等もう少し原野谷全体に情報が行き届いていないのが現状です。回覧板も家族の誰かが見たら回してしてしまい見てなかった知らなかったが多いです。あんり幼保園やコアラ子育て支援などでアンケートや説明会の参加を促すようにしたらどうかと思います。高齢者の意見を参考にはするがあくまでも子供達メインで考えてあげたい。</p>
7	ランドセルが重い(少し前から問題になってるニュースを見ました)うえに、水筒まで持つと身体への負担が大きいため浄水が飲めるようにしていただきたいです。

回答 番号	新しい学校へのご意見（1/21まで）
8	<p>建築場所は中学校以外がいいと思います。 なぜなら中学校にしてしまうといずれまた複式学級になってしまう可能性があるからです。そういった理由からあまり奥の方に建てるよりは原谷小学校や原谷小学校以南の方が遠い将来を考えてもその方がいいかと思えます。部活もなくなり地域クラブになるなら尚更です。どこへ通うにも遠くなってしまっは児童の安全も心配です。地域クラブに通う意欲も薄れてしまいます。現に我が子がそう言ってます。。通うのが遠く面倒だし帰宅部にして家でゲームしようと、 時間費用がかかってもできれば新建設場所を検討していただき、当分の間改修工事や建て直しがなければ初期費用は大きいと思いますが結果として費用もかさばらずに済むのではないのでしょうか。地域住民で今回のことに意見してる方々はほぼ高齢の方です。地元愛の深い方や硬い考えの方もいらっしゃるかと思います。その方の意見も大切ですが、やはり将来を担うのは若い世代です。ぜひ若い世代の方の意見にも耳を傾けて参考にさせていただきたいと思います。</p>
9	<p>先ほど意見を送信させていただいた者です。 若い世代は仕事や子育て等ありなかなか傍観できないためzoom等で配信していただけると助かります。 また、住民の繋がりががすごいためすぐに噂が回ってしまいます。なので、何か意見する際は匿名でできるとありがたいです。</p>
10	<p>意見になってないかもしれませんが 原谷地区で回覧板で小中一貫校になることについての署名を求めるものが先日回ってきました。 内容は簡潔にいうと3候補の建設地の事で、長い目で将来安全面経済面を考えると原谷小学校に建設したほうがいいので、是非とも原谷地域の人には原谷小を第一希望で氏名住所印鑑を求めるものでした。</p> <p>私はこの前中学校の体育館での説明会に初めて参加をしました。 その時、市や教育委員の方の説明はとても丁寧で、3候補の建設地についてメリットデメリットを全て説明してくれて、とてもわかりやすくなるほどと思うことが多かったです。 原谷に住んでるので原谷に出来ればそれは近くていいかも思っただけど、まず原谷だけの問題でない、原野谷全体の問題なんだから、お互いの真ん中がベストだと思っていました そこに参加出来たからこそなんですが、今回、回覧板の内容が原谷小にしてほしいから原野谷中のデメリットと原谷小だとこんなメリットがあると市での説明で言っていなかったことがのってて、原谷小にしたい人達だけの一方的な考えすぎてビックリしましたし、説明会に参加したからそう思えたけど、参加してない住民からすればその情報が全になってしまうんじゃないか その署名が地域の意見になってしまうんじゃないかととても不安と この回覧板の署名を作った人に対してとても不信感を覚えましたし 原野谷学園なのに原谷学園でなつたのにもビックリと こんなことする地域なんだとショックでした 3候補の全てのメリットデメリットを乗せて意見を求めるならわかるけど、こんな偏った一部分の情報で署名を求めたもので決定もそれが地域の意見だとも思っほしくなくて書かせてもらいました</p>
11	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎について：是非木を基調とした校舎が心も落ち着き良いのではないかと思います。どの校舎も老朽化しているため改修ではなく初期コストはかかっても新規建設が望ましいのではないのでしょうか。 ・プールについて：夏季のほんの数回しか使わないため、天候にも関係なく使える掛川スイミングやさんりーなに通うスタイルを掛川市全体で進めてほしいです。 ・駐車場について：今より多くの人数が通うことになるので今以上に駐車場の確保をお願いします。 ・空調について：温度や湿度管理はもちろんのこと、感染症の流行もあるので、換気システムを導入してほしい。 ・水道について：安心安全に飲める水道を用意してほしい ・スクールバスについて：7時半以降に出発となると仕事をしている親で8時出勤の方はバス停まで送れなくなってしまうのでそのあたりも考慮していただきたいです。近くに祖父母がいない家も多々あります。 ・保護者負担について：共働き夫婦が増え、核家族も増えてます。保護者の負担を今以上に減らしていただきたいです。 ・学童について：現在3年生までしか入所できません。上で述べてる通り共働き夫婦が増え、核家族も増えてます。できれば6年生まで入所できるようにしてほしいです。 ・地域クラブについて：ここ最近よく大東の方に新規で作られてるのを目にします。大東では遠くて通えませんが、もっと原谷地区よりも作ってほしいです。 <p>たくさんの要望失礼いたしました。 幅広い年齢の子が通うのでどの年齢でも安全に過ごせるようにしてほしいです。 よろしく願います。</p>

令和6年1月18日

掛川市長 久保田 崇 様
掛川市教育委員会
教育長 佐藤 嘉晃 様

原野谷小中一貫校建設候補地に関する要望書

原谷地区区長会長 [REDACTED]
原谷地区まちづくり協議会
会長 [REDACTED]



日頃から、自治活動に御支援並びに御指導いただき感謝申し上げます。
さて、掛川市学校再編計画に基づき検討が進められております原野谷中学校区における建設候補地につきまして、原谷地区区長会及び原谷地区まちづくり協議会において協議してまいりました。その結果、現原谷小学校が最適地と決議しましたので御報告するとともに、下記のとおり要望いたします。

記

- 1 要望建設地 現原谷小学校敷地+北側用地拡張
- 2 要望の理由
 - (1) 認定こども園「こども広場あんり」が近いという利点がある
 - ① 未就学児を含めた一貫した教育環境が構築できる
 - ② スクールバスの共用の可能性が有る
 - (2) 最も適した位置である
 - ① 学区の人口のほぼ中心に位置する
令和5年12月末現在の行政区別人口より算出
原谷小学校より北部 2,477人
原谷小学校より南部 2,644人
 - ② 原田、原谷地区の生活基盤の中心地である
医科・歯科診療所、駐在所、コンビニ等が近くにある



以上